| , ,,,,, | | | | | | | 業科目 🗀 | C業英語 | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|--|---|--|---|--|---|---|--|--|
| | | 等専門学校 | 開講年度 | 令和04年度 (2 | 2022—12 | 17. | | | | |
| 科目番号 | ·目基礎情報 _{目番号} 0045 | | | | 科目区分 | | 専門 / 必修 | | | |
| 授業形態 | | 講義 | | | 単位の種別と単位 | 立 数 | <u> </u> | | | |
| 開設学科 | | | | | | | 5 | | | |
| 開設期 | т | 後期 | <u> </u> | | 週時間数 | | | | | |
| | <u></u> #π++ | | +田ハナ>ハ 『右吐一』 | ハトダを利用する | | 後期:2 | | | | |
| 担当教員 | 料書/教材 教科書は用いない。随時プリント等を利用 | | | | る。 鉄兵,篁 耕司,畑口 雅人,吉本 健一,平 智幸,佐藤 直飛 | | | | | |
| | | | ,大局 切二,且保 莲或 | 7,世间 久仃,嗚田 鈇 | 兴,星 枡可,畑口 雅 | 主人,古华 | 、健一,平 昝 | 辛,佐藤 匡 | 11K | |
| 到達目 | | | | | | | | | | |
| 2. 科学 | ₹・電子分野 対術の基本 るの研究の概 | 的な専門用語 | などの英文をよみ、理 語や数式の英語表現を 表現できる。 | 理解できる。 を理解できる。 | | | | | | |
| ルーブ | `リック | | | | | | | | | |
| , , , , , , , , , , , , , , , , , , , | | | 理想的な到達レベルの目安 | | 標準的な到達レベルの目安 | | 未到達レベルの目安 | | | |
| 評価項目1 | | | 電気・電子分野英文を読み、正 | 電気・電子分野や情報分野などの電 | | 電気・電子分野や情報分野などの 英文を読み、概要を理解できる。 | | 電気・電子分野や情報分野などの 英文を読んでも理解できない。 | | |
| 評価項目2 | | | | 的な専門用語や数 正確に理解できる | 科学技術の基本的な専門用語や数 式の英語表現を理解できる。 | | | 科学技術の基本的な専門用語や数式の英語表現を正確に理解できたい。 | | |
| 評価項目3 | | | 自らの研究の概 表現できる。 | 要を英語で的確に | | | | 自らの研? | 究の概要を英 | 英語で表現で |
| 学科の | 到達目標 | 項目との関 | ∮係 | | | | | | | |
| 学習・教 | 女育到達度目 | 標 電気情報 | 工学科の教育目標④ | 学習・教育到達度 | 目標 本科の教育目 | 標① | | | | |
| 教育方 | 法等 | | | | | · <u></u> | | | | |
| | <u>-</u> | 電気・電 | 電子分野や情報分野な | よどの英文を読み、 | 理解できる。科学キ | 技術英語 | の基礎文法 | | ける。また、 | 自らの研究 |
| 概要 ———— | | 内容の構 | 既要を英語で表現でき | きるようにする。 | | | | | | |
| 授業の進 | 並 め方・方法 | 序盤は私に関わる | 4学技術英語で用いら 3英文を読み、専門用 | られる基本的な表現 用語や定番表現の知 | について理解する。 識をみにつける。 | 。中盤は 終盤は、 | は、電気・電 自分の研究 | 子分野や についての | 青報分野など の英文の概要 | の専門分野 作成を行う |
| | | ・自学的 | 引数45時間(自学自習 自習(15時間)として、 | 日常の授業(30時 | • | | | | | したものとす |
| ` + == ⊢ | | ・評価(| ついては、合計点数が60点以上で単位修得となる。その場合、各到達目標項目の到達レベルが標準以上であるめられる。 語で定番の英語表現と技術的な用語を覚えることで、ある程度の読み書きができるようになる。自分の興味の | | | | | | | |
| 注意点 | | ことが話 | 忍められる. | | | | | | | |
| 注 思只 | | ことが記 ・工業5 ある分野 | 忍められる. 英語で定番の英語表現 野の英文に挑戦し、英 | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 | 覚えることで、ある の知識を増やしてい | る程度の | 読み書きか | 「できるよ ^っ | | |
| | ·层州 · 层 | ことが記 ・工業等 ある分野 ・知識 <i>の</i> | 忍められる. 英語で定番の英語表現 野の英文に挑戦し、す D定着度をはかるため | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 | 覚えることで、ある の知識を増やしてい | る程度の | 読み書きか | 「できるよ ^っ | | |
| 授業の | 属性・ <u>履</u> | ことが記しています。 | 忍められる. 英語で定番の英語表現 野の英文に挑戦し、 り定着度をはかるため | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 | 覚えることで、あるの知識を増やしてい ストを実施する。 | る程度 <i>の</i> いくこと | 読み書きか | できるよ う うる。 | うになる。自 | 分の興味の |
| 授業の | 属性・履 ティブラー: | ことが記しています。 | 忍められる. 英語で定番の英語表現 野の英文に挑戦し、す D定着度をはかるため | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 | 覚えることで、ある の知識を増やしてい | る程度 <i>の</i> いくこと | 読み書きか | できるよ う うる。 | うになる。自 | 分の興味の |
| 授業の □ アク | ティブラー | ことが記しています。 | 忍められる. 英語で定番の英語表現 野の英文に挑戦し、 り定着度をはかるため | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 | 覚えることで、あるの知識を増やしてい ストを実施する。 | る程度 <i>の</i> いくこと | 読み書きか | できるよ う うる。 | うになる。自 | |
| 授業の □ アク | ティブラー | ことが記する ・工業等 ある分野 ・知識の 修上の区分 ニング | 忍められる. 英語で定番の英語表現 野の英文に挑戦し、専 D定着度をはかるため } □ ICT 利用 | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 | 覚えることで、あるの知識を増やしていストを実施する。 □ 遠隔授業対応 | る程度 <i>の</i> いくこと |)読み書きか -が大切であ | できるよ う うる。 | うになる。自 | 分の興味の |
| 授業の □ アク | ティブラー | ことが記する | 忍められる。 英語で定番の英語表現 所の英文に挑戦し、す の定着度をはかるため | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 か、課題の他に小テ | 覚えることで、あるの知識を増やしている。 ストを実施する。 □ 遠隔授業対応 | る程度 <i>の</i> いくこと | D読み書きか が大切であ の の の の 記述 日標 | できるよう る。 | うになる。自 | 分の興味の |
| 授業の □ アク | ティブラー | ことが記する ・工業等 ある分野 ・知識の 修上の区分 ニング | 忍められる。 英語で定番の英語表現 所の英文に挑戦し、す の定着度をはかるため | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 | 覚えることで、あるの知識を増やしている。 ストを実施する。 □ 遠隔授業対応 | る程度 <i>の</i> いくこと <u>週ごと</u> の 数学の | D読み書きか が大切であ の の の の 記述 日標 | できるよう る。 □ 実務組 専門用語を | うになる。自 圣験のある教 理解できる。 | 分の興味の |
| 授業の | ティブラー | ことが記する | 忍められる。 英語で定番の英語表現 所の英文に挑戦し、す の定着度をはかるため | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 | 覚えることで、あるの知識を増やしている。 ストを実施する。 □ 遠隔授業対応 | る程度のこと 週ごとのごと 科学技術 | D読み書きか たが大切であ の到達目標 英語表現や野 文の内容を がに関する も がに関する も | できるよう る。 □ 実務組 専門用語をる 基礎的な英 | うになる。自 <u>Y</u> 験のある教 理解できる。 文が理解でき | 分の興味の |
| <u>授業の</u> □ アク | ティブラー | ことが記する | 忍められる。 英語で定番の英語表現 がの英文に挑戦し、から か定着度をはかるため かに着度をはかるため かにである。 「ICT 利用 授業内容 科学技術の基礎となる。 科学技術の基礎となる。 | 見と技術的な用語を 使語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 遊文法 (1) | 覚えることで、あるの知識を増やしている。 の知識を増やしている。 ストを実施する。 □ 遠隔授業対応 | る程度00 過数い科術。 型ごの英英 学に関す 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 | D読み書きか 大切であ の到達目標 英語表容を引 がに関する がに関する がに関する がに関する がに関する | できるよう る。 実務 編 専門用ではなった。 基礎的なを 基礎的な英を | ラになる。自 <u> </u> | けの興味の 員による授う それらを用 きる。科学技 を文ができる |
| 授業の □ アク | ティブラー | こっぱい こっぱいぱい こっぱいはいはいはいはいはいはいはいはいはいぱいはいはいはいはいはいはいはいはいは | 認められる。 英語で定番の英語表現 がの英文に挑戦し、から がの英文に挑戦し、から がの英文に挑戦し、から がの方でであるため かった着度をはかるため かった着度をはかるため かった着度をはかるため かった着度をはかるため がったがの上である。 科学技術の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 遊文法 (1) 遊文法 (2) | 覚えることで、あるの知識を増やしている。 の知識を増やしている。 ストを実施する。 □ 遠隔授業対応 | る程を との が 対 | D読み書きか たが大切であ の到達目標 英語表現容を 新なのに関す文の がに関す文の がよる英文の | できるよう 「こう」 実務編集である。 専門解ではなった。 基礎の一ないった。 基礎の一なかった。 基礎の一なかった。 基礎の一ない。 | ラになる。自 <u>柔験のある教</u> 理解できる。 文が理解できる。 文が理解できる。 文が理解できる。 | 分の興味の 員による授養 それらを用 きる。科学技 作文ができる きる、科学技 |
| 授業の □ アク | ティブラー: | こっぱい こっぱいぱい こっぱいはいはいはいはいはいはいはいはいはいぱいはいはいはいはいはいはいはいはいは | 認められる。 使語で定番の英語表現 がの英文に挑戦し、から かの英文に挑戦し、から がの英文に挑戦し、から がの英文に挑戦し、から がの英文に挑戦し、から がの英でに挑戦し、から がの英でに挑戦し、から がの英ではかるため がの大きない。 科学技術の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 本質ないるでは、からいの表現である。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 見と技術的な用語を 原語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 様文法(1) 遊文法(2) | 覚えることで、あるの知識を増やしてで、人を実施する。 □ 遠隔授業対応 | る程を 2 との英 技関 を 2 との英 技関 を 3 との英 技関 を 4 との英 技関 を 4 との英 技関 ・ 4 との 4 との 5 との 5 との 5 との 5 との 5 との 5 との | D読み書きか が大切であ の到達目標 英文がに関する がする。 が。 がする。 を、 がする。 がする。 を、 がする。 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を、 を 。 を 、 を 、 を と 。 を と | できるようできる。 実務 編 | ラになる。自 <u>柔験のある教</u> 理解できる。 文が理解できる 文が理解できる 文が理解できる 文利用して英値 の概要を理解 | 付の興味の 環による授業 それらを用 きる。科学技 作文ができる。 軽できる。 |
| 授業の 〕 アク | ティブラー: | C・あ・ | 認められる。 英語で定番の英語表現 別の文文に挑戦し、かり の定着度をはかるため 計画 ICT 利用 「授業内容 科学技術の基礎となる 科学技術英語の基礎となる 科学技術英語の基礎となる 科学技術英語の基礎となる 科学技術英語の基礎となる 本本学技術英語の基礎となる 本本学技術英語の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表 | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 様文法(1) 様文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 | 覚えることで、あるの知識を増やしている。 ○知識を増やしている。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠には、1) □ を読む(1) | るい 週 数い 科術。 科術。 各 各 専 専 門門 | D読み書きか が大切であり の到達目標の 英文の内すする がよいに英文であり がするものが がするが がもが がもが がもが がもが がもが がもが がもが が | できる。 □ 実務編 専門解でいなン はみ は できる 英を できる 英を できる 英を できる 英を できる 英を できる 英を できる | ファイス できる。 主解できる。 文が理解できる。 文が理解できる。 文が理解できる。 文が理解できる。 文が理解できる。 の概要を理解の概要を理解のできる。 の概要を理解のできる。 | 自分の興味の 員による授 それらを用 きる。科学技 作文ができる。 解できる。 解できる。 |
| 授業の 〕 アク | ティブラー: | C・ | 認められる。 英語で定番の英語表現 別の英文に挑戦し、対 別の定着度をはかるため 対定着度をはかるため 計算をしたがある。 日にて利用 授業内容 科学技術の基礎となる 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 遊文法(1) 遊文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 | 覚えることで、あるの知識を増やしてはストを実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 *********************************** | るい 週 数い 科術。 科術。 各 各 各 内側 対 対 対 対 対 対 対 対 が は 対 は 対 は 対 は 対 は 対 は | D読み書きか が大切である の | できる。 □ 実務編 | ででででです。 ・ 文が理解できる。 ・ 文が理解でできる。 ・ 文利用の概要を理解のの概要を理解のできる。 | けの興味の 員による授 長による授 それらを用 きる。科学技 をする。科学さる をする。 なができる。 解できる。 解できる。 |
| 授業の □ アク 授業計 | ティブラー: | C | 認められる。 英語で定番の英語表現 別の英文に挑戦し、対 別の定着度をはかるため 対定着度をはかるため 計算をしたがある。 日にて利用 授業内容 科学技術の基礎となる 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 様文法(1) 様文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 | 覚えることで、あるの知識を増やしてはストを実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 *********************************** | るい 週 数い 科術。 科術。 各 各 各 内側 対 対 対 対 対 対 対 対 が は 対 は 対 は 対 は 対 は 対 は | D読み書きか が大切である の | できる。 □ 実務編 | ファイス できる。 主解できる。 文が理解できる。 文が理解できる。 文が理解できる。 文が理解できる。 文が理解できる。 の概要を理解の概要を理解のできる。 の概要を理解のできる。 | けの興味の 員による授 それらを用 きる。科学技 作文ができる。 なができる。 解できる。 解できる。 |
| 授業の □ アク 授業計 | ティブラー: | 修上グ 修上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 | 認められる。 英語で定番の英語表現 別の英文に挑戦し、力 の定着度をはかるため 力定着度をはかるため 計画 ICT 利用 授業内容 科学技術の基礎となる 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 本書子分野や性電気・電子分野や性電気・電子分野や性電気・電子分野や性電気・電子分野や性電気・電子分野や性では、 | 見と技術的な用語を 英語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 遊文法(1) 遊文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 | 覚えることで、あるの知識を増やしてで、 ストを実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 cを読む(1) cを読む(2) cを読む(3) cを読む(4) | る程 と の英 技関 対 | D読み書きか大切であるが大切である。 の到達目現容すするがあるに関す文にる英文にる英文にる英文ではなった。 か野の論文であるが野の論文であるが野の論文である。 | できる。 □ 実務編 | ででででです。 ・ 文が理解できる。 ・ 文が理解でできる。 ・ 文利用の概要を理解のの概要を理解のできる。 | #分の興味の 員による授 長による授 それらを用 きるかで 科学さる きなができる。 解できる。 解できる。 解できる。 解できる。 |
| 授業の □ アク 授業計 | ティブラー: | C | 認められる。 英語で定番の英語表現 がの英文に挑戦し、か か定着度をはかるため か定着度をはかるため かにできない。 「ICT 利用 授業内容 科学技術の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 科学技術英語の基礎となる。 本電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい | 見と技術的な用語を 東語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 遊文法(1) 遊文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 | 覚えることで、あるの知識を増やしてで、ストを実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 ***を読む(1) **を読む(2) **を読む(3) **を読む(4) **を読む(5) | るい 週数い 科術。 科術。 各 各 各 各 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 | の読み書きか が大切である。 の到達目標で見 時語表内でする。 が野のには英文では、一次野の論文では、 のには、一次野のには、一次野のには、一次野のには、一次野のには、一次野のには、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次で | できる。 □ 実務編集である。 □ 実務編集である。 □ 実務編集である。 □ 実務編集である。 □ 実務編集である。 □ 実務編集である。 □ ではいった。 □ ではい。 □ では、 □ ではい。 □ ではい。 □ では、 □ では、 □ では、 □ では、 □ では、 □ では、 □ では | できる。 自 ・ 文利 の概要を理解のの概要を理解の概要を理解の概要を理解の概要を理解の できる。 | けの興味の 員による授 それらを用 きるができる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 |
| 授業の □ アク 授業計 | ティブラー: | 修上グ 修上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 | 認められる。 使語で定番の英語表現 がの英文に挑戦し、か がの英文に挑戦し、か がの英文に挑戦し、か がの英文に挑戦し、か がの英文に挑戦し、か がの大きない。 がの大きない。 がの基礎とない。 科学技術英語の基礎とない。 科学技術英語の基礎とない。 科学技術英語の基礎とない。 本電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい | 見と技術的な用語を 東語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 を立法(1) を文法(1) を文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 | 覚えることで、あるの知識を増やしてで、人を実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 cein (1) cein (2) cein (3) cein (4) cein (5) cein (6) cein (7) cein | るい 週 数い 科術。 科術。 各 各 各 各 各 各 各 内 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 | の読み書きかまかり の到達目現をするのに 対のにる英す文す文 がよるのにる英であるのが が分野のの論論文文 が分野のの論論文文で が分野のの論論文文で が分野のの論文文で が分野のの論文文で ののになるのが、 ののではないでは、 ののでは、 のでは、 | できる。 □ 実務編 | できる。 自 全験のある教理解できる。 文利 文利 理解で 英の の概要を理解のの概要を理解のの概要を理解のの概要を理解のの概要を理解のの概要を理解のの概要を理解のの概要を理解のできる。 | けの興味の 関による授 ではよる授 を相による授 ででできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 |
| 授業の □ アク 授業計 | ティブラー: | 修 二 で | 認められる。 使語で定番の英語表現 がの英文に挑戦し、なため か定着度をはかるため か定着度をはかるため かにできない。 「ICT 利用 授業内容 科学技術の基礎となる。 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 本電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい 電気・電子分野やい | 見と技術的な用語を 東語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 をなま(1) を文法(1) を文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 | 覚えることで、あるの知識を増やしてでストを実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 た読む(1) を読む(2) を読む(3) を読む(4) を読む(5) を読む(6) を読む(7) | るい 週数い科術。科術。各各各各各各各各方面 のでででは、 | の読みませんが、 | でる。 ■ 実務編 をる 英を 英を そそそそそそそそそそそそそそそそそそそそそそそそそそそそそそ | で 対 で 対 で 対 が | けの興味の 関による授 でもまる。 による授 でできる。 によるが、 科できる。 にはまるが、 おができる。 にはまる。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 にはな。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 になる。 にな。 になる。 になる。 になる。 になる。 |
| 授業の □ アク 授業計 | ティブラー: | 修士 ・あ・の区 上グ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 | 認められる。 使語で定番の英語表現 がの英文にが戦し、なため か定着度をはかるため か定着度をはかるため かに着度をはかるため かに着度をはかるため かに表現を 相学技術の基礎とが 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 本電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付電気・電子分野や付 | 見と技術的な用語を 京語表現や専門用語 か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 なる数学の英語表現 を文法(1) を文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 | 覚えることで、あるの知識を増やしてでストを実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 た読む(1) を読む(2) を読む(3) を読む(4) を読む(5) を読む(7) を読む(8) | るい 週数い科術。科術。各各各各各各各各方法 との英技関 技関 門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門 | かける である かい できない できない できない できない できない できない できない できな | でる。 ■ | でででででででででででででででででででででででででででででででででででで | けの興味の 関による授 でよるが。ができる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 解でできる。 |
| 授業の □ アク 授業計 | ティブラー: | 修士 ・あ・の区 上で 過 1週 2週 3週 4週 3週 4週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 | 認められる。 英語で定番の英語表現 別の文文に挑戦し、か 別の定着度をはかるため 力に着度をはかるため 対定着度をはかるため 計画におります。 日にて利用 授業内容 科学技術の基礎となる 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 電気・電子分野や付 | 見と技術的な用語を 原語表現や専門用語 を語表現の他に小テ なる数学の英語表現 なる数学の英語表現 を文法(1) を文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 | 覚えることで、あるの知識を増やしてでストを実施する。 □ 遠隔授業対応 遠隔授業対応 を読む(1) を読む(2) を読む(3) を読む(4) を読む(5) を読む(6) を読む(7) を読む(8) を読む(9) | るい 週数い科術。科術。各各各各各各各各各格格 との英技関 技関 門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門門 | か読みません。 かまかりであるかりである。 かかかりののの論論に対すがするのが、 がかかりののの論論に対すが、 がかりののの論論に対するのが、 かかりののの論論に対するのが、 ないでするのができないでする。 ないでするのがでする。 ないでするのがでするのができないでするでするでする。 ないでするでするでするでするでするでは、 ないでするではないでするでするではないでするではないでするでするではないでするでするではないでするではないでするではないでするではないでするではないではないでするではないではないでするではないではないでするではないではないでするではないでするではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない | でる。 | でではなる。 自 ・ | けの興味の 員による授 長による授 それ。がでいる。ができます。 解でででできまする。 解ででできまする。 解ででできまする。 解でできまする。 解でできまする。 解でできまする。 解でできまする。 解でできまする。 解ででできまする。 解でできまする。 解でできまする。 解でできまする。 |
| 授業の □ アク 授業計 | ティブラー: 画 3rdQ | 修士 ・あ・の区 上グ 週 1週 2週 3週 4週 3週 4週 3週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11 | 認められる。 使語で定番の英語表現 がの英文にに挑戦し、からため か定着度をはかるため か定着度をはかるため かに着度をはかるため かに着度をはかるため かにでする。 科学技術の基礎となる。 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 本電気・電子分野やい | 見と技術的な用語を 京語表現や専門用語を 京語表現の他に小テ なる数学の英語表現 なる数学の英語表現 を文法(1) を文法(1) を文法(2) 青報分野などの英文 青報分野などの英文 青報分野などの英文 青報分野などの英文 青報分野などの英文 青報分野などの英文 青報分野などの英文 青報分野などの英文 青報分野などの英文 青報分野などの英文 青報分野などの英文 青報分野などの英文 青報分野などの英文 | 覚えることで、あるの知識を増やしてでストを実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | るい 週数い科術。科術。各各各各各各各各各路路程 で 学に 学に 学に 専専専専専専専専専専専専専専専専専専専専 | かける は、 | でる。 ■ | で 文利 ののののののののののののののののののののののののののののののののののの | 分の興味の 員による授 長による授 それ。が。がきききききききききききききききききききききききききききききききききき |
| 授業の □ アク 授業計 | ティブラー: 画 3rdQ | 修 コン・あ・の | 認められる。 使語で定番の英語表現 がの英文にに挑戦し、からため か定着度をはかるため か定着度をはかるため かに着度をはかるため かに着度をはかるため かにでする。 科学技術の基礎となる。 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 本電気・電子分野やい | 見と技術的な用語を 東語表現や専門用語か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 なる数学の英語表現 なる数学の英語表現 を文法(1) を文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 | 覚えることで、あるの知識を増やしてで、人を実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ はまれるい。□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | るい 週 数い 科術。 科術。 各 各 各 各 各 各 各 各 各 图の程と ご 学た 学に 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 | の読が の読が の発表の関英 関語表の関英 関数のののののののののののののののののののののののののののののののののののの | でる。 「四月解 礎タ」 できます。 「四月解 でものです。」 「四月解 でものです。」 「日本のでする」でする。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずでする。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまず | で 文利 文利 のののののののののののののののののののののののののののののののの | 分の興味の 員による授 長による授 それ。が。がきききききききききききききききききききききききききききききききききき |
| 授業の □ アク 授業計 | ティブラー: 画 3rdQ | 修士 ・あ・の区 上グ 週 1週 2週 3週 4週 3週 4週 3週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11 | 認められる。 使語で定番の英語表現 がの英文にに挑戦し、からため か定着度をはかるため か定着度をはかるため かに着度をはかるため かに着度をはかるため かにでする。 科学技術の基礎となる。 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 本電気・電子分野やい | 見と技術的な用語を 東語表現や専門用語か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 なる数学の英語表現 なる数学の英語表現 を文法(1) を文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 「情報分野などの英文 「情報分野などの英文 「情報分野などの英文 「情報分野などの英文 「情報分野などの英文 「での説明を英文で | 覚えることで、あるの知識を増やしてで、人を実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ はまれるい。□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | るい 週 数い 科術。 科術。 各 各 各 各 各 各 各 各 各 图の程と ご 学た 学に 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 | かける は、 | でる。 「四月解 礎タ」 できます。 「四月解 でものです。」 「四月解 でものです。」 「日本のでする」でする。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずでする。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまず | で 文利 文利 のののののののののののののののののののののののののののののののの | 分の興味の 員による授 長による授 それら 科で 科で るるるるるるる。 解でききるる。 解ででききるるるるるるるるるるるるる。 解ででききるる。 解ででききるる。 解でできるる。 解でできるる。 |
| 授業の □ アク 授業計 | ティブラー: 画 3rdQ | 修 コン・あ・の | 認められる。 英語で定番の英語表現 別の定着度をはかるため 力に着度をはかるため 力に着度をはかるため 力に着度をはかるため 対学技術の基礎となる 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 電気・電子分野や付 | 見と技術的な用語を 東語表現や専門用語か、課題の他に小テ なる数学の英語表現 なる数学の英語表現 なる数学の英語表現 を文法(1) を文法(2) 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 情報分野などの英文 「情報分野などの英文 「情報分野などの英文 「情報分野などの英文 「情報分野などの英文 「情報分野などの英文 「での説明を英文で | 覚えることで、あるの知識を増やしてで、人を実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ はまれるい。□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | るい 週 数い 科術。 科術。 各 各 各 各 各 各 各 各 各 图の程と ご 学た 学に 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 | の読が の読が の発表の関英 関語表の関英 関数のののののののののののののののののののののののののののののののののののの | でる。 「四月解 礎タ」 できます。 「四月解 でものです。」 「四月解 でものです。」 「日本のでする」でする。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずでする。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまず | で 文利 文利 のののののののののののののののののののののののののののののののの | 分の興味の 員による授 長による授 それら 科で 科で あるるる。 本でできる。 なが ききるる。 なででききるる。 なででききるる。 なででききるる。 なででききるる。 なででききるる。 なでできるる。 |
| 授業の □ アク 授業計 後期 | ティブラー: 画 3rdQ 4thQ | 修 コンドライ | 認められる。 英語で定番の英語表現 別の定着度をはかるため 力に着度をはかるため 力に着度をはかるため 力に着度をはかるため 対学技術の基礎となる 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 電気・電子分野や付 | 見と技術的な用語を 良いでは 見と技術的な用語を 時間に か、課題の他に小テー なる数学の英語表現 でででである。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でででいる。 ででする。 でできる。 でできる。 ででいる。 でできる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でので、 ででいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 で | 覚えることで、あるの知識を増やしてで、人を実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ はまれるい。□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | るい 週 数い 科術。 科術。 各 各 各 各 各 各 各 各 各 图の程と ご 学た 学に 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 | の読が の読が の発表の関英 関語表の関英 関数のののののののののののののののののののののののののののののののののののの | でる。 「四月解 礎タ」 できます。 「四月解 でものです。」 「四月解 でものです。」 「日本のでする」でする。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずでする。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまず | で 文利 文利 のののののののののののののののののののののののののののののののの | 分の興味の 員による授 長による授 それ。が。がきききききききききききききききききききききききききききききききききき |
| 授業の アク 授業計 後期 | ティブラー: 画 3rdQ 4thQ | 修 二 | 認められる。 使語で定番の英語表現 がの英文にと様かるため か定着度をはかるため か定着度をはかるため かにで立てに挑戦かるため かにで立てに挑戦かるため かにでする。 科学技術の基礎となる。 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 電気・電子分野やい 自分の研究内容の の の の の の の の の の の の の の | 見と技術的な用語を語表現や専門用示が、課題の他に小小字語表現の中に小小字語表現の英文法(1) 遊文法(1) 遊文法(2) 情報分野野などの英文 情報分野野などのの英文 情報分野野などのの英文 情報分野野などのの英文 情報分野野などのの英文 情報分野野などのの英文 情報分野などのの英文 であるとのの英文 であるとのの英文 であるとのの英文 であるとのの英文 であるとのの英文 であるとのの英文 での説明を英文文 である表現 | 覚えることで、あるの知識を増やしてで、人を実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | るい 週 数い 科術。 科術。 各 各 各 各 各 各 各 各 各 图の程と ご 学た 学に 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 | の読が の読が の発表の関英 関語表の関英 関数のののののののののののののののののののののののののののののののののののの | でる。 「四月解 礎タ」 できます。 「四月解 でものです。」 「四月解 でものです。」 「日本のでする」でする。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずでする。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまず | で 文利 文利 のののののののののののののののののののののののののののののののの | けの興味の 関 による授 による授 を |
| 授業の アク 授業計 後期 | ティブラー: 画 3rdQ 4thQ | 修 コンドライ | 認められる。 使語で定番の英語表現 がの英文にに挑けかるため か定着度をはかるため か定着度をはかるため か定着度をはかるため かにで立てに挑けかるため 対学技術の基礎となる。 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 科学技術英語の基础 電気・電子分野やい 電気・電子分野やの 音がの研究についる 自分の研究についる 学習内容 | 見と技術的な用語を 良いでは 見と技術的な用語を 時間に か、課題の他に小テー なる数学の英語表現 でででである。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でででいる。 ででする。 でできる。 でできる。 ででいる。 でできる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 ででいる。 でので、 ででいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 で | 覚えることで、あるの知識を増やしてで、人を実施する。 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ 遠隔投業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | るい 週 数い 科術。 科術。 各 各 各 各 各 各 各 各 各 图の程と ご 学た 学に 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 専 | の読が の読が の発表の関英 関語表の関英 関数のののののののののののののののののののののののののののののののののののの | でる。 「四月解 礎タ」 できます。 「四月解 でものです。」 「四月解 でものです。」 「日本のでする」でする。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できます。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずでする。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずです。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできます。 「日本のでする。」できまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまずできまず | で 文利 文利 のののののののののののののののののののののののののののののののの | けの興味の 関 による授 |

| | | | | 他者とコミュニケ- 正しい文章を記述 | | りに日本語や特定の | 外国語で | 2 | 後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後7 |
|-------------|----|--|------|------------------------|-------------------------|--------------------|-------|---|------------------------------|
| | | | | 他者が話す日本語や | や特定の外国語の内 | 7客を把握できる。 | | 2 | 後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後7 |
| | | | | 日本語や特定の外間 ることができる。 | 国語で、会話の目標 | 票を理解して会話を | 成立させ | 2 | 後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後7 |
| | | | | 円滑なコミュニケ- | ーションのために図 | 図表を用意できる。 | | 2 | 後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後7 |
| | | | | 円滑なコミュニケ- づち、繰り返し、7 | - ションのための! ドディーランゲーミ | 態度をとることがで ジなど)。 | うさる(相 | 2 | 後1,後2,後 3,後4,後 5,後6,後7 |
| 評価割合 | | | | | | | | | |
| | 課題 | | 小テスト | 発表 | 態度 | ポートフォリオ | その他 | | 合計 |
| 総合評価割合 | 70 | | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 100 |
| 基礎的能力 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 専門的能力 | 70 | | 30 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 100 |
| 分野横断的能力 0 0 | | | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | |